

目次 解体新書 大河津分水可動堰

まえがき

1. 背景・事業概要

■ 大河津分水の概要	1
■ 分水の近代化と大河津分水	5
■ 大河津分水に関わる地形と地質	9
■ 宮本武之輔と大河津分水	15
■ 大河津分水路を治めるための技術について	21
■ 信濃川水系の治水事業と大河津分水	31

2. 計 画

■ ゲート形式の変遷	39
■ 自在堰と可動堰～ベヤトラップゲートとストーニーゲート～	45

3. 設 計

■ 旧可動堰の浸透流，洗掘および河床低下対策	55
■ 自在堰陥没の教訓と旧可動堰の基礎	63
■ 旧可動堰基礎の設計	71
■ 構脚橋の温度応力低減効果	77
■ 地震動位相差の影響	85

4. 材料・施工

■ 鋼材の機械的・化学的性質	93
■ 大河津分水旧可動堰で使用されたセメント	101
■ コンクリートの配合	107

5. 耐久性・現状の評価

■ 木杭と矢板の健全度	113
■ 過去の3地震による分水周辺の被害	117
■ 可動堰基礎地盤の小さな空隙が堰全体の不安定化を招く	125
■ 構脚橋の腐食状況	131
■ コンクリートの耐久性	139
■ 構脚橋の安全性評価	145
■ 可動堰堰柱の耐震性	149

執筆者一覧

あとがき